經過顛末

電正會が發表

川崎の電氣工組の名を以て今回の勞働爭議經過顛末を

（電氣工組合電正會の名を以て今回の勞働爭議經過顛末を八日附で左の如く公表した（原文の儘を掲げる）

勞働爭議の經過顛末

今回の爭議の動機は六月廿七日會社の上半期賞與發表に始まる職工に國際された賞與は臆想以上の少額であつたのみならず頗る公平を缺き且つ二十五週年紀念觀覽分配金を稱するものが勤續年數を標準とせず又各人の能率動惰等にも顧慮せずして不當な差別を附せられたため電氣工作部職工は憤慨し結果翌二十八日怠業狀態に陥つた茲に於て同部職工一同を以て組織する電氣工組合電正會の幹部（青柿、伊藤、須崎其他）は工作部係員に其處置を相談した處係員は「我々は手の附けやうがないから一同事務室以外へ出ないことにして形勢を傍觀してゐる」とのことに「然らば我々は電正會の名に依つて此怠業を解決しやう」と答へてそれより電正會では工場內各組より二名以上宛の委員を選び同夜市內某所に會合協議の結果其中から更に特別委員として青柿善一郎、伊藤友次郎、須崎儀太郎其他十數名を投票に依つて決し愈々正式に會社へ要求を提出することゝなつた而して其翌日委員は職工一同に對し「我我は獨自的に要求貫徹のため努力するから其代り諸君は平常通り作業に從事されたし」と交換條件の如く誓約して職工を鎭撫し同時に交渉委員は電正會名義の要求書を提げて七月二日午後二時會社重役と會見第一回の折衝を試みた然るに會社は「電正會の名は會社が認める譯に行かぬ」との理由を以て當日の會見は非公式に終つた爲め委員は更に協議の結果要求書に電正會の名を削り電氣工作部職工一同と改め同時に要求條件の一部を改竄して四日午後二時第二回の交渉を試みた然るに會社重役永留氏は「社長歸國まで提出を延期せよ」然らざれば拒絕の外なし」との回答を與へられたため交渉委員は重ねて「我々は職工鎭壓のため懸命の努力をなしつゝあるに拘らず一應の考慮もなく要求書を突返されては今後の事態を如何なるか」と交渉を試みたが之に對し「社長の手許へ送附されたし」と答へ「然らば要求條件を我等の手で歐文とし提出すべしは當報を以て送附されたし」と懇願したが之亦「緊急の問題に非ず」との理由で拒絕され交渉委員は最早嚴の施す術なく此旨を職工一同に報告した工場內には不穩の空氣漲り翌五日は再び怠業の狀態に陥つた隨つて委員は此際何等かの方法を以て職工を鎭壓し社長歸國まで從業せしむるの必要を感じた而も委員には公然職工の進退を命令する權利なく隨つて之が鎭壓にも非常の困難を感じたのである茲に於て職工一同と特殊の契約を結び社長歸國まで平穩に從事せしめんがため工場當局の獲得に奔走した其結果六日朝左の如き誓約書を作り職工一同の調印を得ることとした

誓約書

今般川崎造船所對吾々の爭議に關した記の條項堅く相守り如何なる事情あるも決して違背致間敷候事

一、要求條件貫徹に勿論將來の團結の義務

二、工事の着手又は停止は總て委員會の指揮に從ふこと

三、委員會の承認せざる各種の文書の交附を受け又は發送せざること

四、團體の利益に反する言動をなし又は會社側の訊問に答ること

五、總て運動に要する費用負擔の義務並に今回離出したる賃金中剩餘を生じたる場合之を有警約依て知件

大正十年七月　日

之を以て委員は職工を歸宅せしめ勞働時間を繼續して從來通り能率を擧げしめ以て社長歸國まで平穩を保持する覺悟であつた然るに此調印未了に先立ち特別委員たる青柳、伊藤、荒井、前田、尾川、兒山、山邊の七名は突然會社から馘首を言渡された會社のため職工のためにした總ての骨折は此の馘首に續つて水泡に歸して了つた馘首された委員は會社に對し「事を円滿に結ばれんがため凡ゆる努力を傾倒した我等委員を馘首することは不當ではないか尙我々が受けた解雇手當は雖想以上に多かつたが全職工にも適用されるゝや」と詰問した處「解雇は不當に非ず手當も全職工に適用するか否かは數日來ぬ」との回答であつた更に此の手當は「勤續年數給料成績は參酌したが家族に就いては考慮せぬ」との說明であつた我々は背鄕隊の暴行晃行及び馘首の不當に關して本日重ねて重役の責任を問ふ考へである要するに重役の態度は餘りに高壓的あつた同じ拒絕するにしても少し婉曲にやつて貰へば此際結果にはならなかつた事と思ふ

大正十年七月八日

電氣工組合電正會

三菱造船所の林立した煙筒に煙を見ず

八千の職工悉く示威運動に參加

會社は職工に退出を命じた

和田岬の一角九万坪の地帶を擁し不斷煙煙を天に漲らしてゐた三菱造船所の林立した煙突が、七日以來全職工八千名が怠業から半罷業へと漸次惡化した爲煙突の煙を出なくなつた九日朝造船工作課の職工二千七百餘名は工場へ入ると同時に直に勞働歌を高唱し鍵力鏈を亂打し滿場を先頭に

一隊に　分れ工場內に

示威運動を試みた。之より先き會社は比較的穩和な造船主任、同補機鐵工場の職工がそれに常同する力鏈を叩いて三菱電氣株式會社の外側を三回煙突を猛烈な